

報道関係各位

2026年9月10日
株式会社クロス・マーケティング

女性15～19歳は、中学生までにメイクデビュー42%、体毛の悩みは64% 美容意識と行動の若年化が浮き彫りに

－美容に関する調査（2026年）女性編－

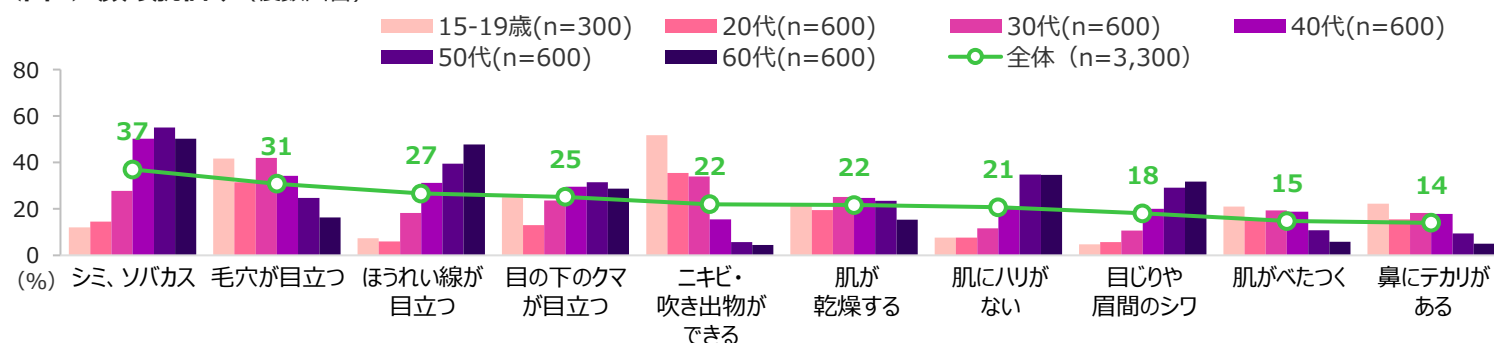
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長兼CEO：五十嵐 幹）は、2026年8月、全国15～69歳の女性3,300名を対象に「美容に関する調査（2026年）」を行いました。今回は、顔の肌悩みと髪の悩み、化粧をし始めた時期、体毛の悩みと気になり始めた時期、脱毛経験部位、日焼けを気にする程度と日焼け防止策について着目し、分析をしました。

■調査結果（一部抜粋）

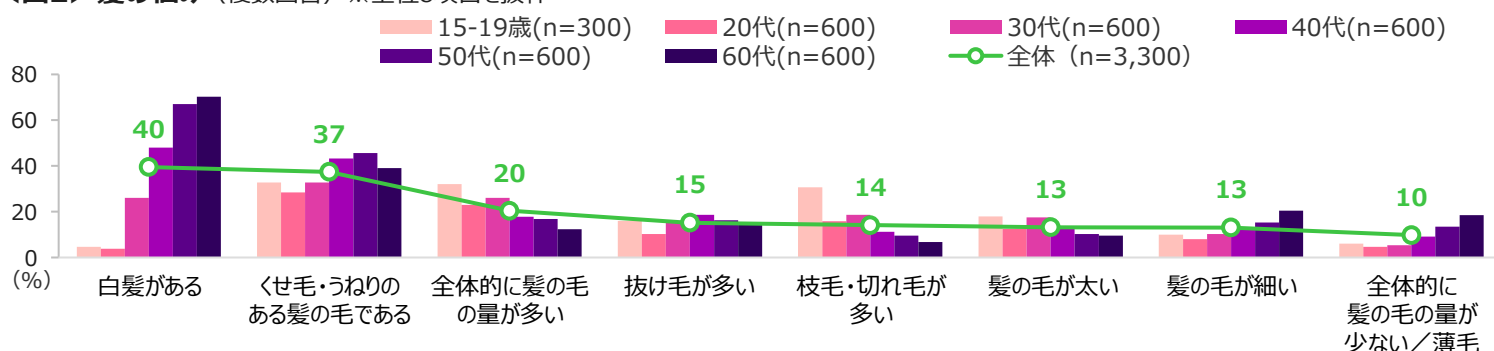
- ✓【顔の肌悩みと髪の悩み】 女性の顔の肌悩みのTOP2は、15～19歳、20～30代は「ニキビ・吹き出物ができる」「毛穴が目立つ」、40代は「シミ、ソバカス」「毛穴が目立つ」、50～60代は「シミ、ソバカス」「ほうれい線が目立つ」であり、年齢による肌悩みの特徴が明らか。＜図1＞ 髪の悩みは、15～19歳、20代は「くせ毛・うねりがある」「髪の毛の量が多い」の順で、30代は「くせ毛・うねりがある」「髪の毛の量が多い」「白髪」、40～60代は「白髪」「くせ毛・うねりがある」であった。顔の肌悩みと同様に年を重ねるにつれて髪の悩みは明確に変わっている。＜図2＞
- ✓【化粧をし始めた時期】 イベント以外で自ら化粧をし始めた時期を聴取した。15～19歳の「小学生の頃」は9%、「中学生の頃」は33%と、合わせて42%は中学生までに自身で化粧を行っている。今の20代は「高校生の頃」からが26%と最も多く、30～40代は「高校生の頃」「19～20歳」、50～60代は「19～20歳」から化粧をし始めた人が約5割と、メイクデビューの若年化傾向が見てとれる。＜図3＞
- ✓【体毛の悩み・脱毛】 体毛の悩みがある人は、全体で42%。15～19歳は64%と高く、20～50代は40%台に落ち着いていく。体毛が気になり始めた時期は、15～19歳において「小学生の頃」が39%、「中学生の頃」45%で合わせて84%を占めた。＜図4＞ 脱毛剤や脱毛器、施術による脱毛部位は、「脇」「腕・手」「脚・足」が3割台。20～30代の「デリケートゾーン」脱毛は3割と多め。＜図5＞
- ✓【日焼けを気にする程度と日焼け対策】 日焼けを「気にしている」は38%、「やや気にしている」は32%で合わせて70%。15～19歳の「気にしている」割合は43%と最多である。＜図6＞ 日焼けを防ぐための対策は「日焼け止めクリーム・ジェルを塗る」58%、「日傘を使用する」52%が多い。年齢があがるほど「日傘」「帽子」「UVカット効果のある下地」「サングラスやUVカットメガネ」の使用が高まる。＜図7＞

◆詳細情報は本レポートに掲載しております。 <https://www.cross-m.co.jp/report/20260910beauty>

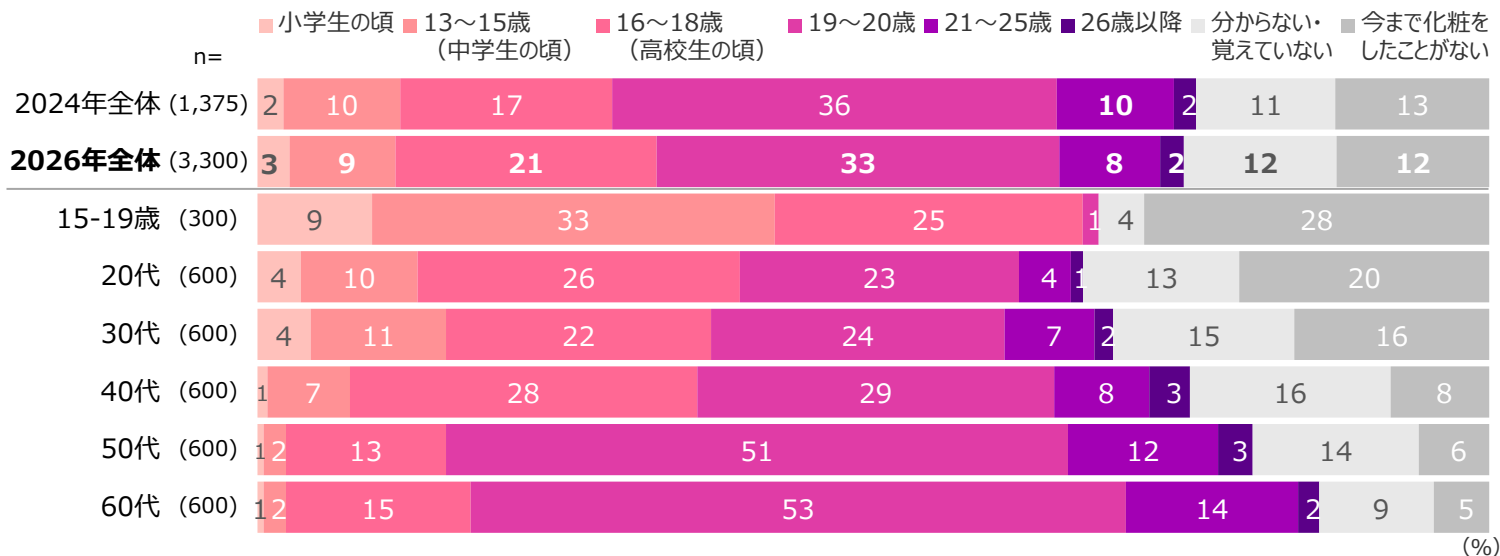
＜図1＞ 顔の肌悩み（複数回答）



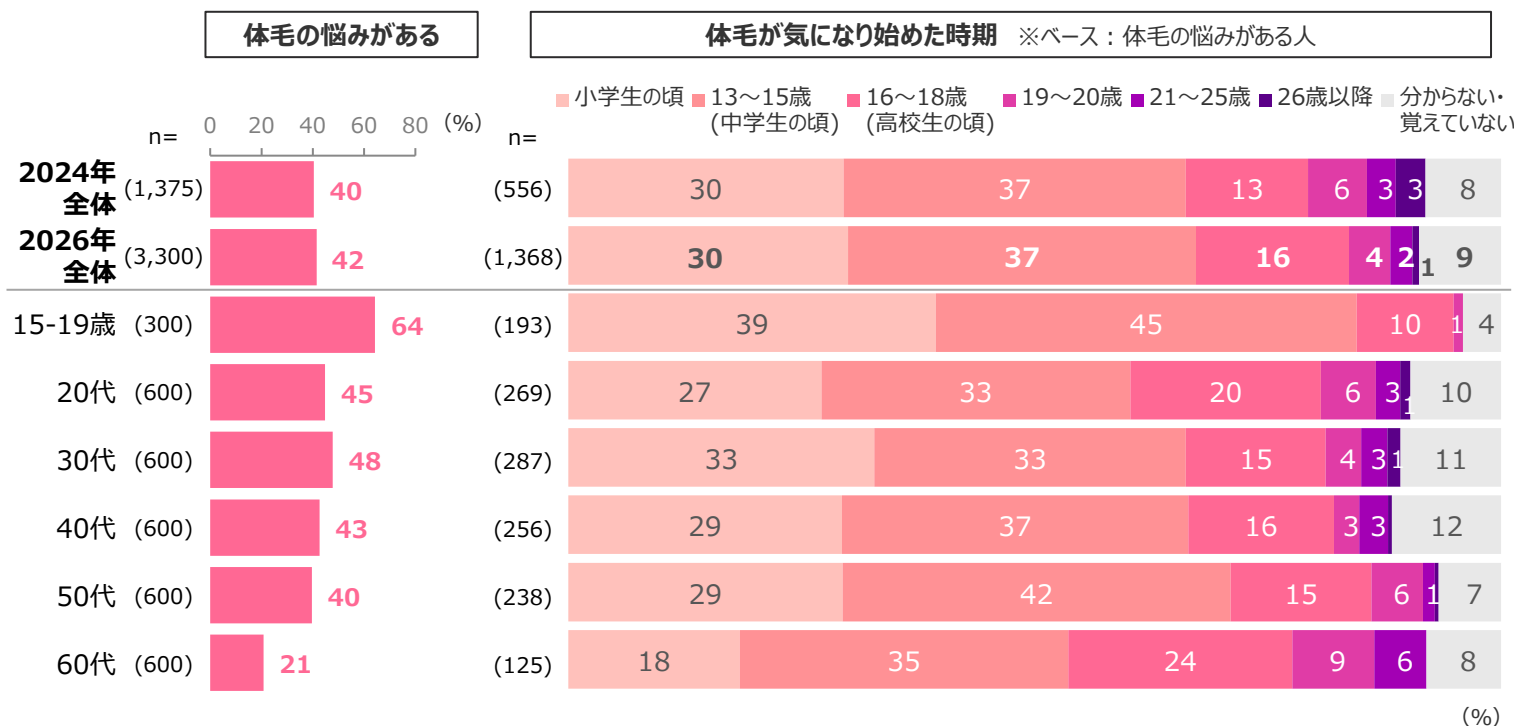
＜図2＞ 髪の悩み（複数回答）※上位8項目を抜粋



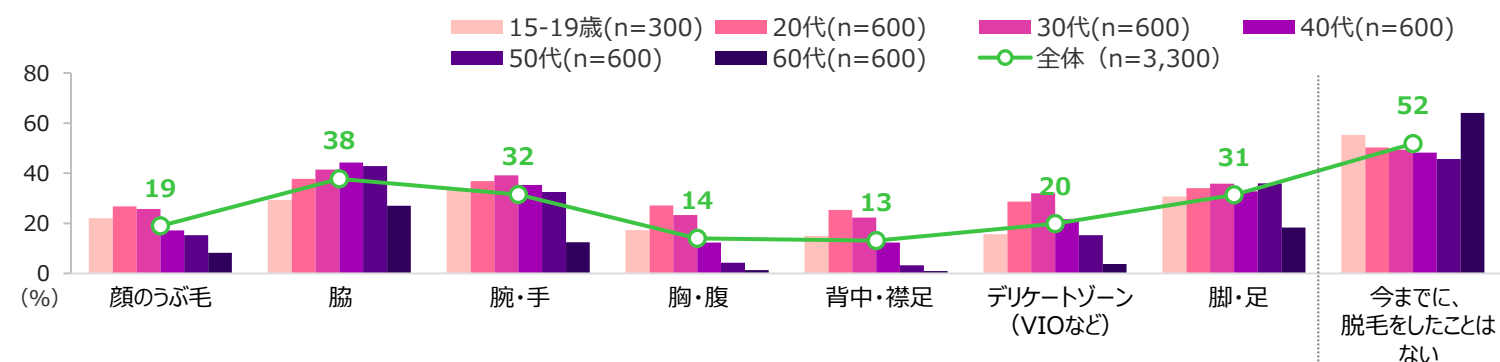
<図3> 化粧をし始めた時期（単一回答） ※自身で化粧をし始めた時期を聴取



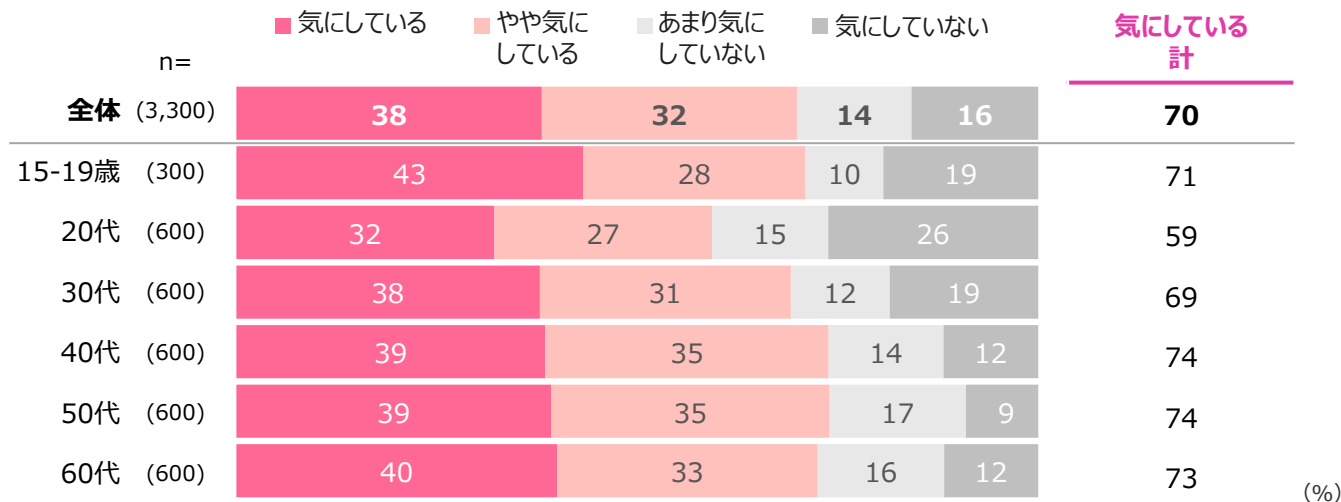
<図4> 体毛の悩みと気になり始めた時期（単一回答）



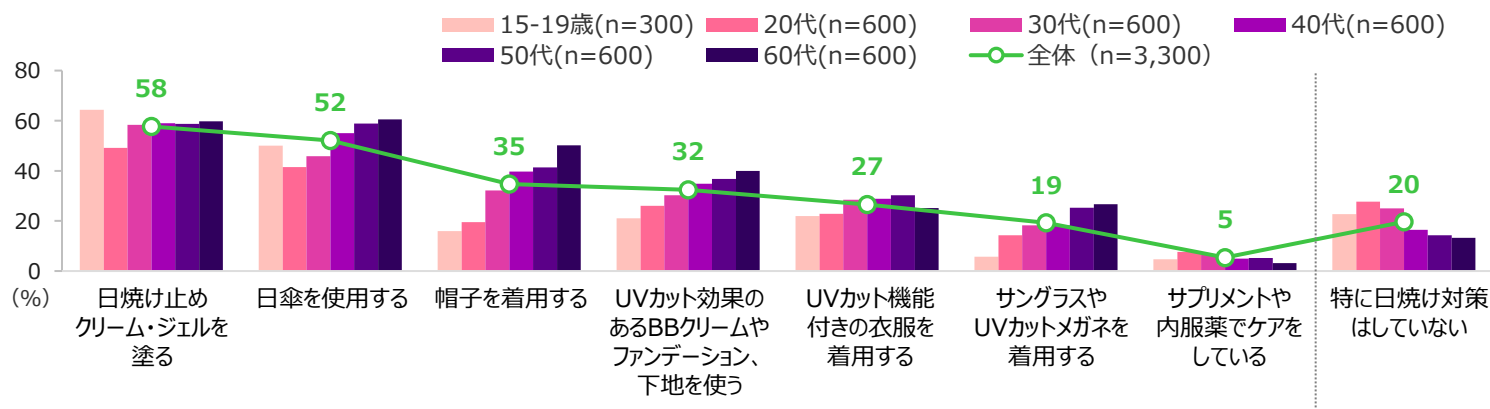
<図5> 脱毛部位（複数回答） ※脱毛剤や脱毛器、施術による脱毛／カミソリでのお手入れは除く



＜図6＞ 日焼けを気にする程度（単一回答）



＜図7＞ 日焼けを防ぐために行っていること（複数回答）



■レポート項目一覧

- ☐ 調査結果サマリー
- ☐ 属性設問（年齢／居住地／未婚／職業／子どもの有無／個人・世帯年収／ポテンシャル・ニーズ・クラスター）

▼スキンケア・メイク 調査結果

- ☐ 肌の悩み
- ☐ メイクするシーン
- ☐ スキンケア／ベースメイク／ポイントメイク 使用アイテム
- ☐ ポイントメイクアイテム 購入時重視点
- ☐ スキンケア／ベースメイク／ポイントメイク 購入チャネル
- ☐ スキンケア／ベースメイク／ポイントメイク 海外製品使用有無
- ☐ スキンケア／ベースメイク／ポイントメイク 海外製品使用理由（自由回答抜粋）
- ☐ 化粧をし始めた時期

▼ヘアケア 調査結果

- ☐ 髪の毛の悩み
- ☐ ヘアケア実施内容
- ☐ 美容室頻度

▼その他美容に関する悩み・ケア

- ☐ ネイルケア実施内容
- ☐ 唇ケア実施内容
- ☐ 口内の悩み

- ☐ 口内ケアの実施内容
- ☐ 体毛への悩み有無
- ☐ 体毛が気になり始めた時期
- ☐ 脱毛の部位／種類
- ☐ 脱毛・体毛ケアをし始めた時期
- ☐ アンチエイジング 関心度
- ☐ アンチエイジングと聞いて思い浮かぶこと（自由回答抜粋）
- ☐ 日焼けを気にしている程度
- ☐ 日焼けを防ぐために行っていること
- ☐ 日焼け対策を行っている理由
- ☐ 美容整形に対する意識・関心
- ☐ 美容整形 興味のある／経験のある施術部位・メニュー
- ☐ 美容行動を行う理由
- ☐ 興味がある美容行動（自由回答抜粋）
- ☐ 美容に関する情報収集経路
- ☐ パーソナル診断認知
- ☐ 肌タイプ

▼ポテンシャル・ニーズ・クラスター（PNCL）について

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ
調査地域 : 全国47都道府県
調査対象 : 15～69歳の女性

調査期間 : 2024年 : 8月9日(金)～16日(金)
2026年 : 8月5日(水)～7日(金)
有効回答数 : 2024年 : 本調査 1,375サンプル
2026年 : 本調査 3,300サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
設立 : 2003年4月1日
代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先 ◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275

E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」